

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	下呂市立上原小学校		
実 施 期 間	平成26年11月16日(日)		
実 施 概 要	①上原小学校文化祭(作品展示・学習発表会) ②保護者・地域の方々と餅つき、花餅作り、会食		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然 □歴史 ■文化 □産業 □その他		
	公開の方法 □授業公開 ■成果発表 ■交流活動 □講演会等 □地域行事等参加 □その他		
来校者数	保 護 者	110 人	計 140 人
	地域関係者	30 人	
実施状況	<p>企画段階から、当日も1日を通して、6年生が進めた。「みんなが幸せを感じられる文化祭にしよう」というスローガンを掲げ、開会式で、今の自分たちがいかに幸せかを語るプレゼンを用意し発表した。その後の全校合唱でも「花は咲く」を歌い、映像で本校の楽しい写真と共に、東北の震災の映像なども流し、忘れてはいけないことがあるんだというメッセージを伝えた。</p> <p>〈土祭り〉</p> <ul style="list-style-type: none">自分たちで栽培したり収穫したりした作物を使って、餅つき体験をし、多くの方々に食べてもらうことを通して、収穫の喜びと感謝の気持ちをもった。1年生ヨモギ餅、2年あんこ餅、3・4年生エビ餅、5年生きなこ餅、6年生雑煮を作った。約200食分用意し、みんなで味わった。もち米は、6年生が地域の方々に米作りの指導をしていただいて収穫したものである。夏休み中も世話を続け、例年にない収穫量であった。今後、別の方にしめ縄作りを教えていただく予定である。祖父母の方から、昔から伝わる文化を学んだ。(餅つき、餅まるめ、花餅作りなど)みんなで力を合わせ取り組むことで、お互いを認め合い、学級の所属感を高められた。 <p>〈学習発表会〉</p> <ul style="list-style-type: none">ステージ発表に向けて、学習内容をより深く追求し、まとめる中で、相手意識をもった伝え方の工夫を行った。保護者や地域の方々に楽しんでもらって、子どもたちは達成感を味わっていた。1年生「くじらぐも」音読劇 2年生「手紙」音読劇 3・4年生「ごんぎつね」劇 5年生「森林について学んだこと」総合発表、6年生「どろぼう学校」劇 3・4年生「天使の羽のマーチ・もみじ」合唱		



成果と課題

〈成果〉

- ・ たくさんの方々が協力してくれて助かった。細かい引き継ぎがしっかりしていてそのおかげでスムーズに行えた。
- ・ 事前打ち合わせが2回あるのは大変だが、最終打ち合わせなど、有効なのでよかった。
- ・ 役員は大変だが、子どもたちの「おいしかった」という言葉を聞くとやってよかったと思う。今後も続けてほしい。
- ・ 祖父母と一緒に活動できる機会があっていい。
- ・ 仲間と協力して、みんなでひとつのことをやり遂げる姿勢が伝わり、すばらしい発表会だった。
- ・ 各学年の劇や取組等の発表や歌など、みんなの一生懸命さやがんばり、自信などが伝わってきてよかったと思う。
- ・ わが子だけでなく、学校の子も達どの子も成長している姿がよくわかり、胸が熱くなった。

〈課題〉

- ・ 衛生面の課題が増え、今後この活動を続けていくに当たり、見直しが必要な点が出てきた。(食品にかかわる参加者の健康調査や衛生面の配慮にかかわる予算面等)
- ・ 土祭りと発表会が同じ日だと、いいことも多いが、役員さんは昼頃には疲れてしまっている。展示をゆっくりと見る時間があるとよい。
- ・ 家庭数が減ってくる中、どのように続けていくか。